



FUJI P.S. CORPORATION

市野瀬橋
国土交通省四国地方整備局

第64期

FPS REPORT

2015.4.1 - 2016.3.31

証券コード：1848



株式会社富士ピー・エス

経営理念

私たちはプレストレスト・コンクリート技術で、
安全・安心な国家建設に貢献します

社訓

一我々は 福祉国家建設の一翼を
担って 社会に奉仕しよう

一我々は 技術を究め創意をこらし
自己の責任を完遂しよう

一我々は 和信協同し企業の繁栄と
共に幸福を創り出そう



建築

36.4%



土木

62.5%

売上
構成比



人にあたたかい
空間づくりをめざして

中期経営計画「VISION2016」実現に向けて



代表取締役社長
菅野 昇孝

株主の皆様方におかれましては、平素より格別のご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

このたびの熊本地震により被災された皆様には、心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈りいたします。

当建設業界は、震災復興、防災・減災対策、社会インフラ老朽化対策、東京オリンピック・パラリンピックなどの建設需要により公共投資は堅調に推移し、民間建設投資もマンション事業を中心に回復基調が続いております。

その一方で、人手不足と労務費の高騰など、工程の確保や工事の採算性に影響する懸念要因が継続している状況であります。

このような経営環境のもと、当社グループは2012年度に策定した第3次中期経営計画を推進してまいりましたが、改正品確法の施行や本格的な維持修繕の時代への突入等、建設業界の環境が激変していることを鑑み、新たに「VISION2016」として第4次中期経営計画を策定いたしました。

本計画を全社員が心を一つにして取り組んでいくことで、強固な経営基盤の構築や高品質を提供できる技術力の保有を実現し、PC（プレストレストコンクリート）建設業界のリーディングカンパニーとして、真に社会に信頼され、必要とされる企業を目指し邁進する所存でございますので、今後とも格別のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

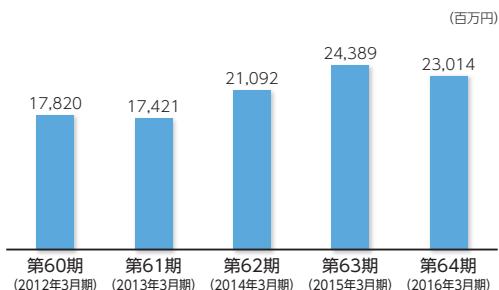
財務ハイライト

受注高は11期ぶりに300億円超えを達成。売上高は前期繰越工事の減少が影響して3期ぶりの減収。また、損益面についても売上高の減少が影響し2期連続の減益。

受注高



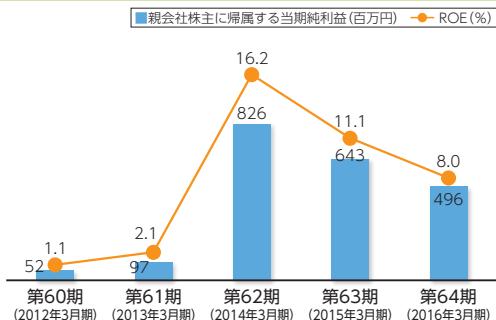
売上高



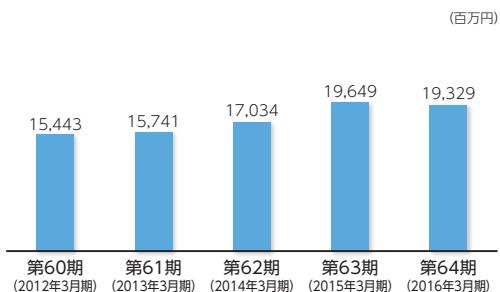
経常利益・経常利益率



親会社株主に帰属する当期純利益・自己資本利益率 (ROE)



総資産



純資産・自己資本比率



※第61期より連結財務諸表を作成しております。

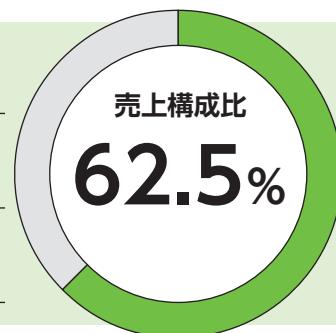
セグメント情報

土木事業

受注高 23,227百万円  前期比 99.8%増

売上高 14,374百万円  前期比 7.7%減

セグメント利益
(売上総利益) 1,521百万円  前期比 15.0%減



受注高は23,227百万円（前期比99.8%増）となりました。また、売上高は当社における前期繰越工事が大幅に減少したことなどから14,374百万円（前期比7.7%減）、セグメント利益は1,521百万円（前期比15.0%減）となりました。

土木事業の紹介

市野瀬橋（高知県高岡郡四万十町）

四国地方整備局

3径間連続PCラーメン箱桁橋

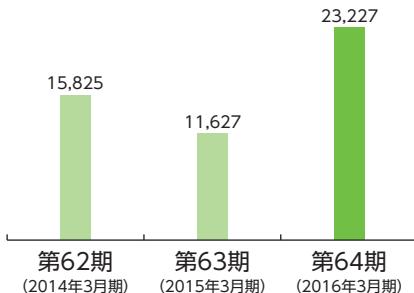
四国では、災害時の緊急輸送や広域交流の支援を担う「命の道」の確保のため四国4県を8の字で結ぶ「四国8の字ネットワーク」の建設が進められています。高知県西部を延伸中のこの8の字の一端を担う片山バイパスは山間部を通るため、トンネルと橋とを改良工事区間でつなぐ延長6.1kmの道路事業で平成30年度の開通を予定しています。

市野瀬橋はこの区間の中間地点に位置し、地上からの高さが80mを超える高所に架設する3径間連続PCラーメン箱桁橋です。平成28年9月完成に向け鋭意施工中です。



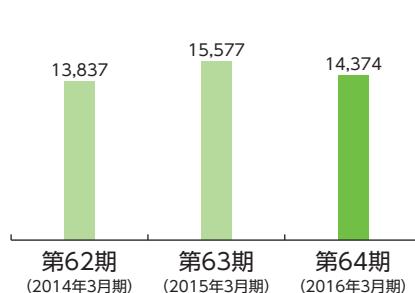
受注高

(単位：百万円)



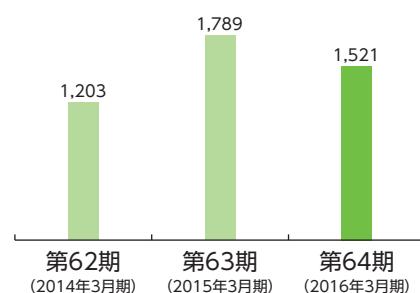
売上高

(単位：百万円)



セグメント利益

(単位：百万円)



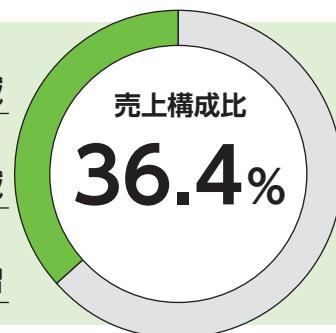
セグメント情報

建築事業

受注高 6,777百万円  前期比 21.5%減

売上高 8,384百万円  前期比 2.2%減

セグメント利益
(売上総利益) 1,521百万円  前期比 9.5%増



建築事業は、回復基調が継続しているマンション事業や住宅分野で増加が見込まれる耐震補強事業などの営業を強化しましたが、発注時期の遅れなどにより受注高は6,777百万円（前期比21.5%減）となりました。また、売上高は耐震補強工事が増加、FR板の製作が減少し8,384百万円（前期比2.2%減）、セグメント利益は1,521百万円（前期比9.5%増）となりました。

建築事業の紹介

品質と経済性に優れた建築製品を生み出す

主要都市部の都市再生再開事業の超高層マンションに採用されている当社開発のプレストレストコンクリート床板（FR板）は堅調に顧客を確保し、施工実績を増やしています。

PcaPc事業は、研究施設、Pca壁式住宅、店舗・倉庫等の施工実績を増やしています。今後も営業強化を図り、受注拡大を目指しています。

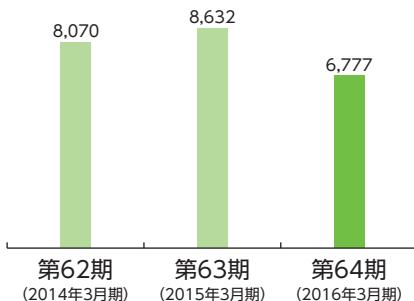


FR板敷設状況

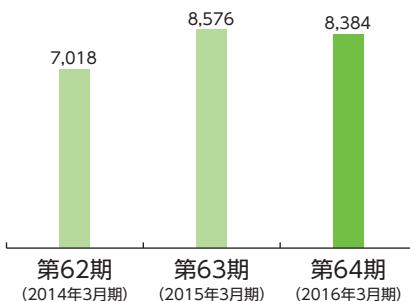


広島駅南口Bブロック第1種市街地再開事業（広島市・FR板納入）

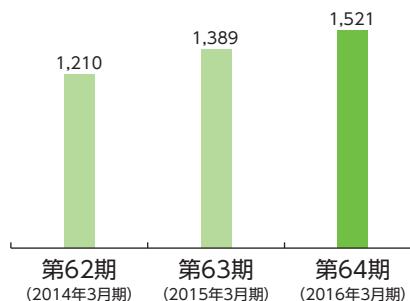
受注高 (単位：百万円)



売上高 (単位：百万円)



セグメント利益 (単位：百万円)



今期の主な実績



門司港チャペルPC
(北九州市門司区)



新潟市営新石山住宅 (新潟市東区)



香椎～香椎浜補修工事 (福岡市東区)



福浜住宅 (福岡市中央区)



神崎駅前計画 (大阪市淀川区)



吉浜金石道路工事唐丹第一高架橋
(岩手県釜石市)



佐保川橋 (大阪府茨木市)



VISION 2016 ～今後10年間の成長を見据えて～

2012年度策定の第3次中期経営計画は4年が経過しましたが、改正品確法の施行、本格的な維持修繕の時代への突入等、建設業界の環境が激変しています。これに鑑み、1年前倒しで、**VISION 2016** として第4次中期経営計画を策定することとしました。

本VISIONの骨子は、確かな経営基盤の構築、高品質を提供できる技術力の保有を実現することによって、プレストレストコンクリート建設業界のリーディングカンパニーとなり、真に社会に信頼され、必要とされる企業に成長することです。

計画実現のため、全役職員心を一つにして、取り組んでいきます。

当社の基本方針

1

基本方針

1. 売上高300億円超、選別受注及び利益優先主義を継続
2. 2025年までに建築売上比率40%（建築売上高125億円）
3. 営業利益率3%超の確保
4. 2018年までに東証二部から一部への市場替え
5. 2025年までに海外売上比率10%

2

投資方針

1. 年間3億円の投資を継続的に行い、生産性の向上、製品売上比率の向上を図る
2. 工場製品の売上増加に伴い、工場生産能力の増強
3. 継続的な研究開発を行うために売上高の0.3%を開発費に充当

3

財務方針

1. 財務の健全性を重視し、投資は当面利益の範囲内とする
2. 将来、大規模な投資が必要になった場合は、保有資産の活用も視野に入れる
3. ROEは3年目以降7%の維持を目標

4

株主還元方針

1. 配当性向20%超の継続

2025年に向けた富士ピー・エスの姿

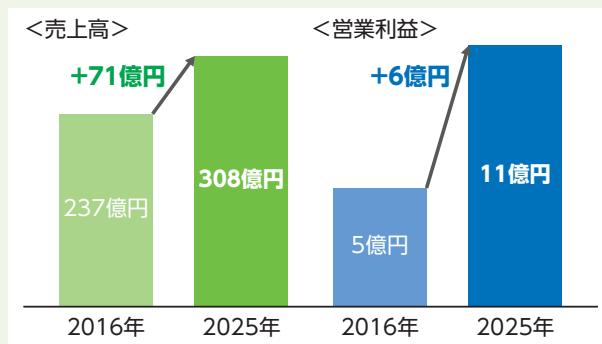
- 長期的な市場環境の変化をとらえ、PC技術の特性を核とした技術開発と事業の多様化で継続的な成長を実現する。

2025年に向け、富士ピー・エスの目指すところ

1. 維持更新市場において10%のシェアを獲得。
2. 土木・建築の双方でプレキャスト化を推進する。
3. 機械化・情報化により生産性を向上させ、将来の担い手不足に備える。
4. 多様な人材の獲得と育成を本格化する。
5. 上記を実現させるための技術開発を更に強化する。

成長のイメージ（単体）

売上高300億円の達成・営業利益10億円超の達成



事業変革のイメージ

		2016年	2025年
土木	維持更新売上比率 (対土木売上比)	約7% (11億円)	約42% (76億円)
建築	建築PCaPC比率 (対建築売上比)	約14% (9億円)	約24% (30億円)
土建	工場製品売上比率 (対土建売上比)	約30% (70億円)	約40% (120億円)
全社	生産性向上	工場：技能労働者1人当たり生産量 50%up 工事：技能労働者1人当たり売上高 30%up	

※土建売上に不動産収入、その他売上は含まない

株主還元・投資

安定した配当性向の確保 **年20%超**

設備投資の継続 **年3億円**

研究開発の継続 **対売上高の0.3%**

財務諸表

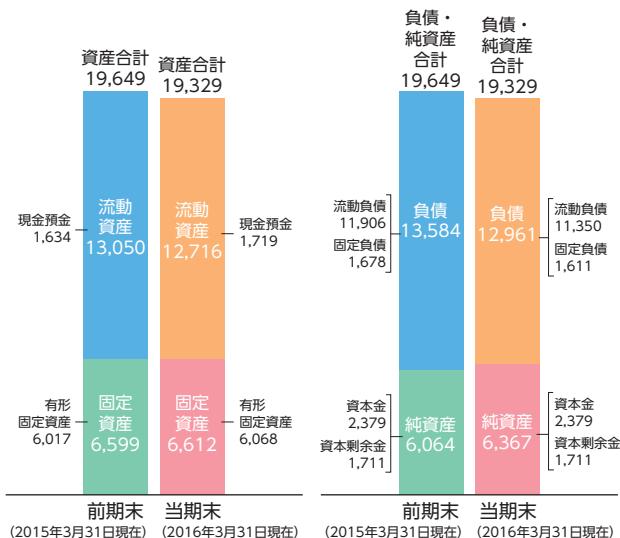
連結損益計算書の概要

(単位：百万円)

科目	当期（累計） (2015年4月1日から 2016年3月31日まで)	前期（累計） (2014年4月1日から 2015年3月31日まで)	増減率（%）
売上高	23,014	24,389	△ 5.6
売上原価	19,835	21,082	△ 5.9
売上総利益	3,179	3,306	△ 3.9
販売費及び一般管理費	2,555	2,538	0.7
営業利益	624	768	△ 18.8
経常利益	586	752	△ 22.0
親会社株主に帰属する当期純利益	496	643	△ 22.8

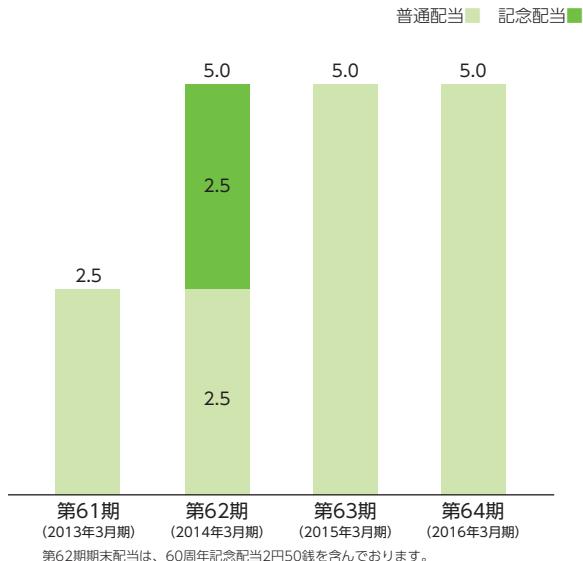
連結貸借対照表の概要

(単位：百万円)



配当金の推移

(単位：円)



会社概要 (2016年6月21日現在)

会社の概況

商号	株式会社 富士ピー・エス (英訳名 FUJI P.S CORPORATION)
設立	昭和29年3月19日
資本金	23億7,927万円
従業員数	370名 ※2016年3月31日現在
事業内容	特定建設業 (土木工事、建築工事) プレストレスト・コンクリート (PC) 技術を用いた 土木・建築事業の請負、企画、設計、施工監理 並びにPC製品の設計、製造、販売
	1. 土木事業 橋梁 (道路・鉄道橋) 工事、PCタンク工事、耐震補強 工事、メンテナンス工事など
	2. 建築事業 FC・FR板の製作・敷設指導、耐震補強工事、PcaPc建 築工事、PCリング及びPC緊張工事
	3. その他事業 PC軌道マクラギ、PC矢板、PC梁・柱などの製造、販売

役員

代表取締役社長	菅野 昇 孝	専務執行役員	桑原 安 男
代表取締役執行役員副社長	内野 寛	常務執行役員	白石 博 昭
取締役執行役員副社長	藤本 良 雄	上席執行役員	梅林 洋 彦
取締役専務執行役員	田中 恭 哉	上席執行役員	池田 秀 雄
取締役専務執行役員	堤 忠 彦	執行役員	深谷 浩 史
取締役	佐々木 有 三	執行役員	上野 貴 司
取締役	庄崎 秀 昭	執行役員	内野 英 宏
取締役	中野 幸 正	執行役員	油田 康 生
取締役	新関 輝 夫	執行役員	船越 光 晴
常勤監査役	善福 勉	執行役員	西山 吉 秀
常勤監査役	江里口 俊 郎		
監査役	田中 耕 二		
相談役	長尾 徳 博		

(注) 1. 佐々木有三、庄崎秀昭、中野幸正、新関輝夫の4氏は、社外取締役であります。
2. 善福勉、田中耕二の両氏は、社外監査役であります。
3. 取締役庄崎秀昭、新関輝夫の両氏は東京証券取引所、福岡証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、両取引所に届け出ております。

主要事業所

本店	福岡市中央区薬院一丁目13番8号 九電不動産ビル 〒810-0022 TEL092(721)3471(代)
支店	九州支店、広島支店、関西支店、名古屋支店、 関東支店、東北支店
工場	九州小竹工場、三重工場、滋賀工場、関東工場、 いわき工場、東北工場
営業所	全国19カ所
連結子会社	株式会社 シーピーケー (PCマクラギの製造、販売) 本社：大阪市淀川区西中島七丁目16番76号 滋賀工場：滋賀県東近江市五個荘和田町123番地

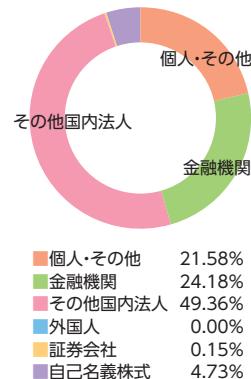
株式概要 (2016年3月31日現在)

株式の状況

発行可能株式総数	53,000,000株
発行済株式の総数	18,602,244株
株主数	666名

株主名	持株数	持株比率
太平洋セメント株式会社	3,721千株	20.99%
住友電気工業株式会社	2,383千株	13.45%
日本スタートラスト 信託銀行株式会社 (退職給付信託口・ 九州電力株式会社口)	2,309千株	13.03%
西日本鉄道株式会社	773千株	4.36%
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託神鋼鋼線工業 口再信託受託者資産管理 サービス信託銀行株式会社	722千株	4.07%
富士ピー・エス東京取引先持株会	693千株	3.91%
富士ピー・エス大阪取引先持株会	539千株	3.04%
富士ピー・エス福岡取引先持株会	539千株	3.04%
株式会社三井住友銀行	477千株	2.69%
日鉄住金SWGワイヤ株式会社	423千株	2.38%

(注) 1. 当社は、自己株式を880千株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。



株式のご案内

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月開催

基準日 定時株主総会 毎年3月31日
期末配当 毎年3月31日
中間配当 毎年9月30日
そのほか必要あるときは、あらかじめ公告して定めた日

上場証券取引所 株式会社東京証券取引所 市場第二部
証券会員制法人福岡証券取引所

公告方法 当社のホームページに掲載(電子公告)し、止むを得ない事由が生じた場合は日本経済新聞にて公告する。
(<http://www.fujips.co.jp/kohkoku/index.html>)

株主名簿管理人および
特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
事務取扱場所 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先) 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) ☎0120-782-031

(インターネットホームページURL)
<http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

(ご注意とお願い)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、単元未満株式の買取・買増請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三井住友信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三井住友信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座管理機関(三井住友信託銀行)にお問い合わせください。なお、三井住友信託銀行全国各支店においてもお取次ぎいたします。
- ①単元未満株式(1,000株未満)及び②特別口座(三井住友信託銀行)

で管理されている株式は市場で売却することができません。株主様の利便性を図るため次の事項をお勧めいたします。

- ①単元未満株式につきましては、買取・買増制度をご利用ください。
- ②特別口座(三井住友信託銀行)で管理されている株式につきましては、証券会社等で管理される口座管理機関への変更をお勧めいたします。
- ④単元未満株式の買取・買増につきましては、当社は手数料を無料としておりますので、株主様におかれましては、ご利用をお願い申し上げます。
- ⑤ご不明な点がありましたら、上記株主名簿管理人または当社総務部(092-721-3471)にお問い合わせください。

人にあたたかい空間づくりをめざして



URL <http://www.fujips.co.jp/>

